

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)プレサンスロジエ城南寺田駅前 新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q1 建築物の環境品質</b>										<b>3.1</b>
<b>Q1-1 室内環境</b>							0.40			<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>						4.0	0.15	3.3	1.00	3.4
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				遮音性能:T-2		5.0	0.50	3.6	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能						5.0	1.00	5.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御						2.2	0.50	3.0	0.50	
2.1.1 室温						3.0	0.63	3.0	0.63	
2.1.2 外皮性能						1.0	0.38	3.0	0.38	
2.1.3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						3.3	0.25	3.4	1.00	3.4
3.1 昼光利用				住戸部3.3≥2.0%・共用部3.2≥2.5%		4.2	0.30	3.4	0.30	
3.1.1 昼光率						5.0	0.60	5.0	0.50	
3.1.2 方位別開口						-	-	1.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				カーテン・バルコニーを評価		3.0	0.30	4.0	0.30	
3.2.1 昼光制御						3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策				内装材にF☆☆☆☆を使用		4.0	0.60	4.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質						4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				居室面積の1/6以上		3.0	0.40	3.6	0.38	
4.2.1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能						-	-	5.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御						-	-	-	-	
<b>Q2 快適性</b>							0.30			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>						3.1	0.40	4.2	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ				光回線		3.0	0.40	5.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性						-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応						-	-	5.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
1.2.3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				①②トイレ壁・床:ビニルクロス張、③床に水勾配・防水加工有り④空		3.5	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計						4.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
2.1.1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				内壁:ビニルクロス貼		3.5	0.30	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						4.0	0.10	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔				主要用途2種以上にB、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				FRP製の受水槽(耐用年数25年)		4.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
2.4.1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.5	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			-	2.0	0.50	
1 階高のゆとり			-	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 密着外環境(敷地内)</b>		<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2.8</b>
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2) 地域産木材の使用、3) アプローチに庇を設けている、キッズルーム兼パ	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3.0</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.98	3.2	0.50	-	-	3.2
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング			-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3.0</b>
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	吸音材料・ビニル系床材	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤・クロスのみ	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	R32使用	4.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		<b>3.3</b>	<b>0.33</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3.3</b>
1 地球温暖化への配慮	省エネ設計から二酸化炭素排出量低減に努める	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	I-1) 駐輪台数328台、II-1) 駐車台数99台、2) サービス用駐車1台	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	